



## 例会 綿向山 感想

平尾 繁和

1月が異常に暖かく全国的に雪が降らず実施されるか危ぶんでいたが、綿向山に変更しての例会に参加できてよかった。

綿向山には2回ほど登ったことがあるが冬は初めてで、7合目を過ぎてからの冬道の尾根筋は風が強く時折吹雪いて頬が痛かった。

冬道は、普段は保全のため入れないブナ林の中を直登していくコースで、えびの尻尾や樹氷になりかけた雪で白く覆われたブナの林を堪能できた。

竜王山への分岐手前では樹林の間に青空がのぞき白と青のコントラストが最高で、思わず感嘆の声が上がった。

山頂からは、向かいの鈴鹿山系の山々、鎌ヶ岳や雨乞岳がみられ、聞くと前回は見られなかったとのことでラッキーだった。

山頂で昼食後下山、冬道分岐を越え竜王山へ向かう尾根を雨乞岳からの主稜線手前まで行った。少し雪も深かったが展望が開け素晴らしい眺めだった。

途中、季節をかえ見に来ようと思っていたブナの珍変木(「幸福ブナ」と呼ばれているらしい)にも出会えた。

久々の雪山山行に感激、今後も機会があれば参加したいと思います。(アイゼンの課題は反省)。

事前にいろいろ積雪状況を調べ計画し運転もしていただいた小川さん大変お世話になり、ありがとうございました。

雪山初体験の方も、橇すべりを夢中で楽しまれていましたね。参加のみなさん楽しい雪山山行ができ、ありがとうございました。

※参考 ヤママップ:9.2km、5時間26分、累積標高差860m/890m

初めての雪山登山に不安を感じながらも、樹氷を見たくて参加しました。さらさらの粉雪を掻き分けて、アイゼンを雪の斜面に突き刺しながら歩くことがわかってくるとだんだんと面白くなってきました。ソリ遊び、青空と樹氷の美しさ、山頂から見た悠々とした鈴鹿山脈。どれも心が動かされました。

吹雪のランチタイムにはパンが凍りそうになって焦りましたが、震えるほどの寒さも山友会の皆さんと一緒に楽しく乗り越えられました。



今村ひとみ



本当に楽しい一日を過ごせました。

西川 洋

気温氷点下5度、風速10メートル最大風速20メートル、こんな状況で直接風に当たっていた耳は、翌日赤く軽い凍傷になっていました。

頂上付近で曇り空であった空は、途中三度ほど雲がなくなり、青空が現れ周辺の山々の景色も見渡せるようになりました。

雪山の景色及び樹氷がとても美しかった。  
とっても良い山行になりました。



中田 繁男

暖冬の今年は雪がなく小川さんには苦勞をお掛けしました。今週は寒気が戻り急遽「綿向山」に変更になり雪山が期待できそうでした。

登山口は久しぶりの雪景色に沢山の登山者にツアー客が多く賑やかです。

綿向山で今期初めての雪の登山が楽しめました。

山頂付近の樹氷が青空に映えて美しい！！

登山教室のメンバーも初の雪山経験が嬉しそうです。

尾根伝いからの雪景色は感激して何度も目に焼き付けて帰りました。  
お疲れ様でした。



玉置 安世

雪山に行くのをちょっとビビっていた私としては今年の雪は余り降らなかったのが正直ほっとしていました。

今回の綿向山の山行前あたりからすごい寒波で雪が一杯積もって不安しかなかったです。

でも、そんな思いは何処えやら！楽しい貴重な経験ができた1日です。

アイゼンに刺さる雪ノ感触が何とも嬉しい。

顔には粉雪が当たるし、風が強くて前に進めないけど山頂での一瞬の青空がご褒美です。

樹氷ってほんとと自然が作った作品だわ！キレイ過ぎる。

ちょっと、雪山にハマッてしまったのでした。

楽しい山行ありがとうございます。



以上